

従業員の働きやすさ・働きがいと 企業経営の関係性 ～ウェルビーイング経営の視点から～



Contents

- ・事例① (株)たくみ工芸 …………… 11頁
- ・事例② (株)仁張工作所 …………… 12頁
- ・事例③ (株)吉建ウォール …………… 13頁

ウェルビーイング経営とは？

近年、企業経営において働き方改革や健康経営が推進される中、自社の利益を追求するだけでなく、従業員ひとりひとりの幸せを追求する「ウェルビーイング経営」が注目されている。

ウェルビーイングとは、心身ともに健康で、かつ社会的にも満たされた状態を指す言葉である。その概念はビジネスの場でも広がりを見せ、社員が肉体と精神面、また社会的な面でも満たされるように組織の環境を整えることを「ウェルビーイング経営」という。

これまでは長時間労働の解消や休暇取得促進など「働きやすさ」に関係するものが職場環境改善策の中心であったが、現在は従業員の幸福度を一層高めようとするならば、そうした「働きやすさ」を追求するだけでなく、「働きがい」に繋がる取り組みを積極的に行っていくことが望ましいと考えられている。また、従業員のウェルビーイングは、企業の業績に与える影響が大きい指標（従業員の生産性、

創造性、エンゲージメントなど）と強い因果関係にあるとも言われている。

ウェルビーイング経営に

取り組むメリットとは？

企業がウェルビーイング経営を実践する主なメリットには以下が挙げられる。

〈離職防止・人材確保への貢献〉

働きやすい環境が整うことで職場の雰囲気がよくなり、自社に対する従業員の帰属意識や貢献意欲が高まることで、自然と離職防止に繋がる。更に、企業のブランドイメージや企業価値が向上し、採用活動においても好影響をもたらすとされている。

〈生産性向上への貢献〉

従業員が心身ともに健康で働くことができれば、仕事へのモチベーションやパフォーマンスが向上する。その結果、欠勤・休職をする社員が減り、企業全体の生産性向上が期待

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます